

北海道博物館における新型コロナウイルス感染者の発生について

当館に勤務する職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが11月15日(日)に判明いたしました。

1 概要

札幌市保健所の調査により、当館職員が濃厚接触者として特定され、PCR検査を受けた結果、陽性と確認されました。

2 症状・経過

日付	症状・経過	勤務状況
11月9日(月) ～11月12日(木)	・発熱あり	週休日・休暇取得
11月13日(金)	・保健所から濃厚接触者に指定	休暇取得
11月14日(土)	・PCR検査を受検	週休日
11月15日(日)	・陽性が判明	週休日

・当該職員の見終出勤日は11月8日(日)です。

3 職員の従事状況

当該職員は、北海道博物館で主に内部管理業務に従事している職員であり、当館における感染予防対策として実施している入館受付業務(検温、消毒、緊急連絡先の記入依頼)に、1日につき1～2時間程度従事することがありましたが、受付対応中は、マスク・手袋を常時着用するとともに、お客様との間へのアクリル板設置のほか、お声かけする場合も短時間となるよう対策を講じていました。

4 現在の職場の状況

- ・11月13日(金)に、当該職員が勤務している執務室のほか、展示室等を消毒しています
- ・職場内の濃厚接触者として想定される職員については、11月13日から自宅待機としています。濃厚接触者は、札幌市保健所において、現在調査中です。
- ・現在、発熱等の異常を訴えている職員はいません。

5 その他

館内は平時から清掃・消毒作業を行っており、当該職員が濃厚接触者であることが判明した13日には、改めて館内の清掃・消毒作業を行ったほか、濃厚接触者として想定される職員については、既に自宅待機としていることから、17日以降も通常どおり開館いたします。

これまで当館においては、職員の出勤前の検温、こまめな手洗い、マスクの常時着用、事務室の消毒液設置など職場内の感染予防のほか、館内における感染予防策として、利用者の方が入館する際の検温、手指消毒、マスクの常時着用及び展示場内でのソーシャルディスタンスの確保、定期的な清掃・消毒などに取り組んでまいりました。

今後も、感染拡大の防止に最大限努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。